

## しんねんど むか 新年度を迎えて

えんちょう ながた はじめ  
園長 永田 元

ことし ひがしむらやまふくしえん ぶんかつみんえいか ひとつひとつ ぐたいてき と くみ すす  
今年の東村山福祉園は、分割民営化に向けて一つ一つ具体的な取り組みを進めていかなければなりません。

まず、平成29年度に開設される予定の「ひだまりの里 きよせ」に移行される利用者の特性や生活全般の支援プログラム等についてきめ細やかな引継ぎを行っていく必要があります。

また、平成30年度に開設される予定の「希望の郷 東村山」の建築工事を進めるとともに、新たな施設で提供するサービス内容の充実や運営体制の検討整備を着実にやり、これまで以上に利用者本位のサービスを提供できるようにする必要があります。

さらに、児童施設は平成30年度に仮設建物に移転しますが、その建築と新しい児童施設の建築やサービス内容・運営体制の整備検討も進めていかなければなりません。

この分割民営化は、今まで誰も経験することのなかった困難な事業ですが、一步一步着実に実績を積み重ねて、利用者の皆さんに「安心」・「信頼」・「満足」のサービスを提供できるよう、職員一同力を合わせて頑張りますのでご協力のほどよろしくお願い致します。

## ちゃくにん あいさつ 着任のご挨拶

ふくし サービス課長 まつしま まさのり  
福祉サービス課長 松島 匡典

この4月1日から福祉サービス課長に着任した松島です。10年程、医療を中心とした福祉の世界で勤務し、11年ぶりに東村山福祉園に戻ってきました。当時先鞭がついた多くの事業も制度の充実が進み、事業の進め方も、組織支援力のある係長や職員で進めてきた流れから、組織全体の推進力になるまで整備が進んできたことを実感し感動しています。



東村山福祉園の分割民営化はいよいよ佳境に入っていきます。取り組む課題は大きいですが、これをチャンスと捉えて、「安心」「信頼」「満足」の日々のサービスを提供していけるよう、そして皆さんの夢の実現に向けて、ともに頑張りましょう。

福祉サービス第三者評価を27年度も「障害児入所支援」、「短期入所」、「生活介護」の3サービスについて受審しました。評価機関は昨年度に引き続きNPO法人福祉経営ネットワークにお願いしました。ご家族の皆様には、お忙しい中アンケート調査等にご協力いただき誠にありがとうございました。評価結果の概要は以下のとおりです。今後、評価を基に改善計画を策定し、利用者サービスの一層の向上に努めてまいります。

	しょうがいじせつにゆうしょ 障害児施設入所	たんきにゆうしょ 短期入所	せいかつかいご 生活介護
とくに良い と思う点	1 チームとしての和を強化し利用者本位の質の高いサービス提供を目指し、事業所内コミュニケーションに力を入れ取り組んでいる。	2 子どもが家族から離れて生活する体験の場、家族のレスパイトの場として在宅生活を支えている。	2 その人らしく心地よい時間を過ごすための支援環境の整備に尽力している。
	2 支援記録システムに利用者情報を集約して統計分析することにより客観的な評価を支援にいかす取り組みに着手している。	3 事業所内の専門職、学校や関係機関とのカンファレンスにより子どもの状態変化や課題に迅速に対応するしくみがあり機能している。	3 個々の利用者にとっての自立を意識し、地域の資源を有効活用した社会参加を促進している。
	3 医療・栄養・心理等の専門職とのカンファレンスにより子ども・利用者の状態変化に迅速に対応するしくみがあり機能している。		
さらなる 改善の望 まれる点	1 中・長期的な視野を取り入れた個別育成計画の作成とそれによる人材育成に期待したい。	2 子ども・利用者の人員構成や個別状況を考慮し居住環境の工夫を検討しているためさらなる推進が期待される。	2 業務の効率化を意識しつつ利用者の状況や経過がより明確に把握できるような記録の充実が期待される。
	2 子ども・利用者の人員構成や個別状況を考慮し居住環境の工夫を検討しているためさらなる推進が期待される。	3 入退所時の所持品の管理方法を見直す等、スムーズな利用となるよう検討されたい。	3 地域との信頼関係に寄与できるようさらなるサービスマナーを身につけ実践されたい。
	3 平成30年度の児・者分割を踏まえ、児童施設として18歳以降の移行先の開拓にあたっては、都外等の社会資源も念頭にすめられたい。		

	しょうがいじせつにゆうしょ 障害児施設入所	たんきにゆうしょ 短期入所	せいかつかご 生活介護
とくちから 特に力を 入れて いる取り 組み	1 中・長期的な事業計画を踏まえ強度行動障害等の専門性の強化に積極的に取り組んでいる。		
	2 利用者の意向に基づき地域生活移行に向けた関係機関との連携や環境整備を図っている。	2 空き情報等を入手しやすく工夫することで利用率向上につなげ地域貢献に取り組んでいる。	2 職員間の連携により利用者が主体的に楽しく一日を過ごせる日中活動の充実を図っている。
	3 都立施設の使命を認識し障害のある地域住民を支える多様なサービスを提供している。		3 家族との密なコミュニケーションにより利用者の豊かな生活の構築につなげている。

評価の詳細は、インターネットサイト「とうきょう福祉ナビゲーション」または園内談話室の閲覧用の報告書でご覧いただけます。

〇とうきょう福祉ナビゲーション <http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>

## 新学期がはじまりました

サービス第2係

東村山福祉園では、この春48名の子どもたちが元気に学校に通い始めました。

今年度は、小学部新1年生1名、中学部新1年生が2名、高等部新1年生が4名の7名が入学式を終えて新たな環境での生活が始まりました。みなさん緊張した面持ちの中、入学式に出席されていました。

今年は48名一人一人が、どのような成長を見せてくれるのかとても楽しみです。



## サイボクハム・イチゴ狩りに行ってきました

サービス第3係



5月10日、今年度第1回目のバス外出として、サイボクハムと狭山ベリランドに総勢29名で行ってきました。サイボクハムに到着後、利用者の皆様はエリア内を散策した後に、レストランサイボクで昼食を楽しみました。その後お土産などを購入し、メインイベントである狭山ベリランドに行きイチゴ狩りを行いました。イチゴはとても美味しく、50個程召し上がられた利用者様もいました。また、来年も是非来たいと思いました。

# 利用者アンケートを実施しました

事業推進係

園では利用者の皆様の率直な意見を伺うことまたは意思を模索することを通じて、利用者の方への理解を深め、サービス向上や改善に役立てていく取り組みを行っています。

26年度に試行で実施したことに引き続き、27年度も入所利用者の皆様を対象として、「園の生活で好きなことはどれですか」というテーマで、利用者アンケートを実施しました。

棟職員が利用者様の個々の状況に応じて問いかけを行い、利用者様の意向を把握するという方法で調査を行いました。

26、27年度の結果の概要を下記のとおりお知らせいたします。

## 【調査内容】 園の生活で好きなことはどれですか。(複数回答可)

- 選択肢：①バスハイク ②ドライブ ③テレビ (DVD) 鑑賞 ④棟庭活動  
⑤演奏会 (コンサート) ⑥買い物 ⑦音付き絵本 (26年度は①～⑥の選択肢で調査)

## 【調査結果】

(人数)

	27年度		26年度	
1位	バスハイク	118	ドライブ	87
2位	ドライブ	111	買い物	76
3位	買い物	103	バスハイク	73
4位	テレビ (DVD) 鑑賞	55	演奏会 (コンサート)	55
5位	音付き絵本	50	テレビ (DVD) 鑑賞	43
6位	演奏会 (コンサート)	44	棟庭活動	23
7位	棟庭活動	34		



## ※利用者様の意向の把握方法 (複数回答可)

(人数)

	27年度		26年度	
1位	日常の様子から推測して記入	110	写真・絵カード	74
2位	表情 (仕草)	58	日常の様子から推測して記入	72
3位	写真・絵カード	56	会話	38
4位	会話	43	表情 (仕草)	37
5位	その他	3	その他	3

それぞれ貴重なご意見として受け止め、今後外出の機会を増やす等対応を検討させていただきました。利用者ご本人の希望や意向の実現に向けて支援を行ってまいります。ご協力誠にありがとうございました。

## 今後の予定

今年の東京都東村山福祉園祭は9月24日 (土) 開催予定です! ぜひお越しください。